

食物に対して大変アナーキーな民族であるとさえ思う。

日本の食文化はリスクある食物を全て排除するのではなく、リスクとどうつきあうかを長い歴史のなかで培ってきたのではないかと。今、環境ホルモンという人類が体験したことのないリスクに直面している。絶対安全でなくてはならないはずの母乳にもダイオキシンが入り込んでいるといわれる。完全に安全でないという母乳を排除できるだろうか？排除すれば母乳がもつ免疫力が子どもに伝えられないというリスクが生じる。母親は赤ん坊に母乳をあたえるべきか否か深刻なリスク判断を迫られる。今後、思いもつかないリスクが発生する可能性も非常に高い。

リスクにどう対処するか、日本人が古来からもっている食物に対する基本的な姿勢から考えてゆきたい。

分野は違えど共通の目的を 新・幹事(非食品) 司城 義孝(地の塩社)

今回Radixの会第一回総会に参加致しまして総勢432名という人の多さに圧倒されました。第一部で緒方社長、古原本部長、後藤部長のお話をお聞きし、らでいっしゅぼーやの発足から現在に至るまで、またRadixの会発足の目的などをたいへんよく理解できました。Radixの会が食の安全、環境保全型生産技術の向上、実践による循環型社会の構築を目指す生産者・メーカーの会ということを改めて再認識しました。

農産、畜産、食品などとはカテゴリーが違いますが、非食品＝エコグッズの新役員と致しまして、今後環境や健康を守っていくうえで、分野は違っても信頼できる製品を提供していくという共通の目的を持つものとして、これからどのようなことが出来るのか、どのようにお役に立っていただけるのか、模索していきながら頑張っていきたいと思えます。

農業のリード役に！

前会長代理

齊藤 公雄(有機栽培あゆみの会)

積極的な活動をしていただいた信末前会長の辞任後を引き受けて、役員の方々並びに事務局のサポートの中で無事任務を遂行することができました。ありがとうございました。

第一回総会も終了し、会員の皆さまには会の仕組みや活動内容もこれまで以上に把握できたことと思います。新役員さんも充実し、今後の活動内容もいろいろな面で増えることでしょう。「環境」「リサイクル」「医療」「エネルギー」「生活習慣病」「グリーン購入」、まだまだ限りなくテーマがありますが、私達の目指す先には必ず『食』が関係しています。ぜひともみんなが発展できるためのブランド作りを実践していきましょう。

私も「今までの有機農業は終わった！これからは技術（ワザ）の時代だ！」と言って5年になります。今以上に生産者とともに「農の技術」を実践してまいります。“Radixの会”と“らでいっしゅぼーや”と“会員”みんな夢の実現に向かって進んでいきましょう。Radixの会は有機（JASではない）農業のリード役となってください。

食品の安全性を問う

前副会長

武田 昭彦(JA長野大北)

Radixの会に入会して7年、副会長として2年半、活動をさせていただきました。振り返れば『畜産会員による自主基準作成』『非遺伝子組み換え原料使用の配合飼料研究』『食品残渣の飼料への積極的循環推進』『各畜種飼育履歴の公開』など畜産物の食品としての安全性を高めることをいちばんとして活動をしてまいりました。

その間世界ではアメリカ同時多発テロ事件、アフガニスタン攻撃、不況による会社倒産…日本の畜産界では、牛のBSE問題を発端に牛・豚・鶏肉の大手食品会社による偽装問題の発覚など、消費者の畜産物に対する安全性と流通への不審感が大きくなるとなっております。

改めてRadixの会が実行してきた活動が世の中より一歩先を歩んできたことを確信しました。

最後になりましたが、副会長という大役を仰せつかり微力ながらここまでやってこれきましたのも、皆さまのご協力ご支援があったることと感謝しております。ありがとうございました。

Radixの会が機関車に！

前幹事

右田 秀利(草枕グループ)

Radixの会での役員を受けた当初は、事業協同組合を発足させようといった話や会議の度に内容が二転三転するなど、「いったいRadixの会とはなんだろうか？」と思わずにいられてませんでした。

竹内事務局長が就任し、徐々に会議内容も明確となり明るい兆しを感じ始めた頃、信末会長が辞任されたことは残念でした。昨夏からは役員選任の話も進み、農産でいえば地域ブロック役員もできました。この間の事務局のご苦勞は察して余りあるところです。

これからは、益々の内容充実かと思えます。Radixの会のような多業種が集まる組織は例がなく、ほんとうによい組織です。Radixの会員へのメリットだけにとどまらず他団体へもよい影響を与えていると思えます。

「日本の食」に関するところでは、Radixの会が機関車となり、引っ張ってほしい、そう心からお祈りいたします。